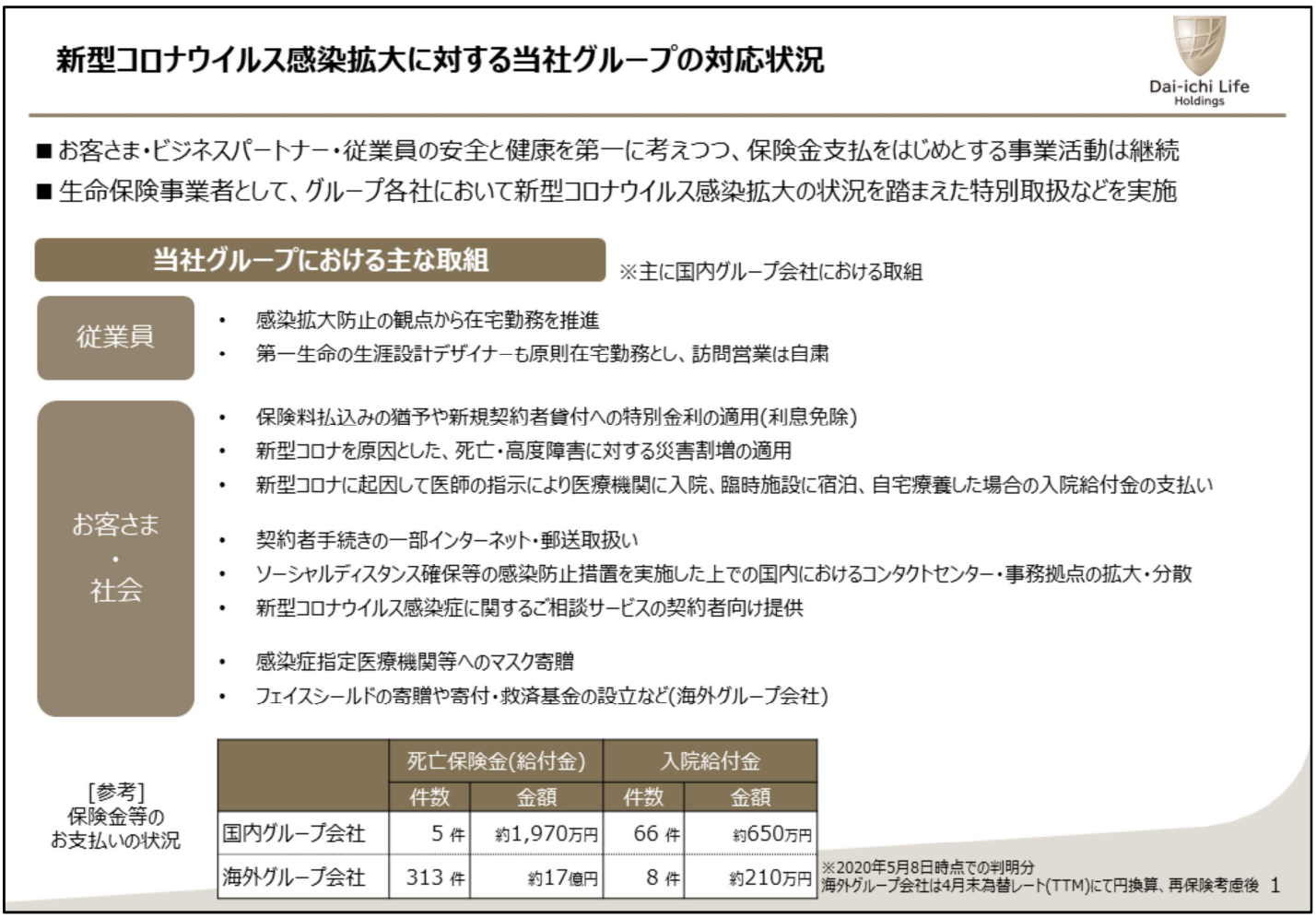
2020年3月期 決算報告

2020年5月15日

第一生命ホールディングス株式会社

Dai-ichi Life Holdings

- 第一生命ホールディングス　経営企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2020年3月期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- １ページをご覧ください。



■ 決算報告の説明の前に、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた当社グループの現在の対応状況について説明します。

■ まず、第一生命グループとしまして、新型コロナウイルスに感染された方々にお見舞いを申し上げるとともに、不幸にもお亡くなりになった方々に心よりお悔やみを申し上げます。

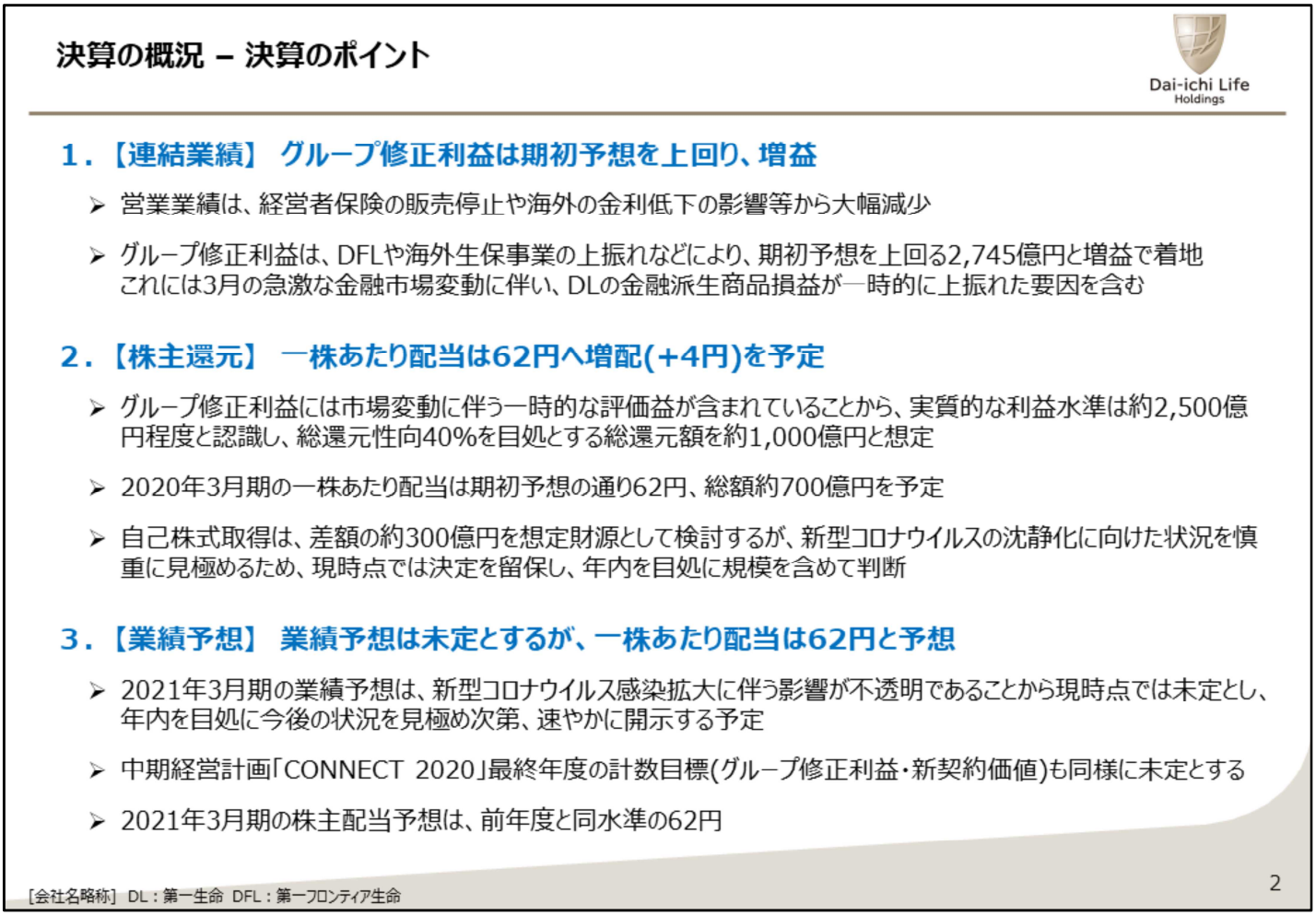
■ 現在の私たちの取組としては、お客さまやビジネスパートナー、そして従業員の安全と健康を第一に考え、営業活動の自粛や在宅勤務を推進する一方で、保険金支払をはじめとする事業活動は継続しております。

■ また、お客さまに対する各種の特別取扱を実施しています。国内での取扱いを例に挙げると、お客さまの資金ニーズに配慮した保険料払込みの猶予や契約者貸付への特別金利の適用のほか、保障の充実に向けた災害割増の適用等を実施済みです。これらの取扱いは、引き続き、グループ各社のホームページ等を通じて発表してまいります。

■ 状況は日々流動的ではありますが、5月8日時点における死亡保険金、入院給付金は、併せて約17億円のお支払いを行っています。

■ 引き続き、生命保険事業者として、各国各地域のお客さま、社会を支える取組を通じた貢献に取り組んでいきます。

■ 次のページをご覧下さい。



- それでは決算報告に移ります。今回のポイントを以下の3点にまとめました。
- まず連結業績についてです。営業業績は、国内における経営者保険の販売停止の影響や海外金利の低下による外貨建て商品の販売減速などから全体として大幅に減少しました。
- グループ修正利益については、第一フロンティア生命や海外生保事業の上振れに加え、3月の急激な金融市場変動に伴い、第一生命の金融派生商品損益が一時的に上振れたことなどから、期初予想を上回る2,745億円となりました。
- 次に、株主還元についてです。グループ修正利益は、ただ今の通り上振れして着地しましたが、一時的な上振れ要因を控除した実質的な利益水準は2,500億円程度と考えており、これを株主還元のベースに考えています。
- この考えに基づき、総還元性向を40%目処とする総還元額については約1,000億円と想定する中で、一株あたり配当は、期初予想の通り前期比で4円増配となる62円としまして、約700億円の株主配当を予定します。
- 総還元額として想定する約1,000億円と配当総額約700億円との差額約300億円については、自己株式取得の財源と想定しています。ただし、新型コロナウイルスの沈静化に向けた状況を見極めるために自己株式取得は現時点では決定を留保し、年内を目処に規模を含めて判断します。
- 最後に、業績予想についてです。2021年3月期は中期経営計画「CONNECT 2020」の最終年度でもありますが、不透明な状況を踏まえ、業績予想ならびに中計の計数目標を現時点では未定とします。こちらも、年内を目処に今後の状況を見極めた上で速やかに開示する考えです。
- ただし、このような状況においても、安定した株主配当は継続したいと考えており、一株あたり配当は、当年度と同水準の62円を予想します。

- 次のページをご覧下さい。

決算のポイント（営業業績）

Dai-ichi Life Holdings

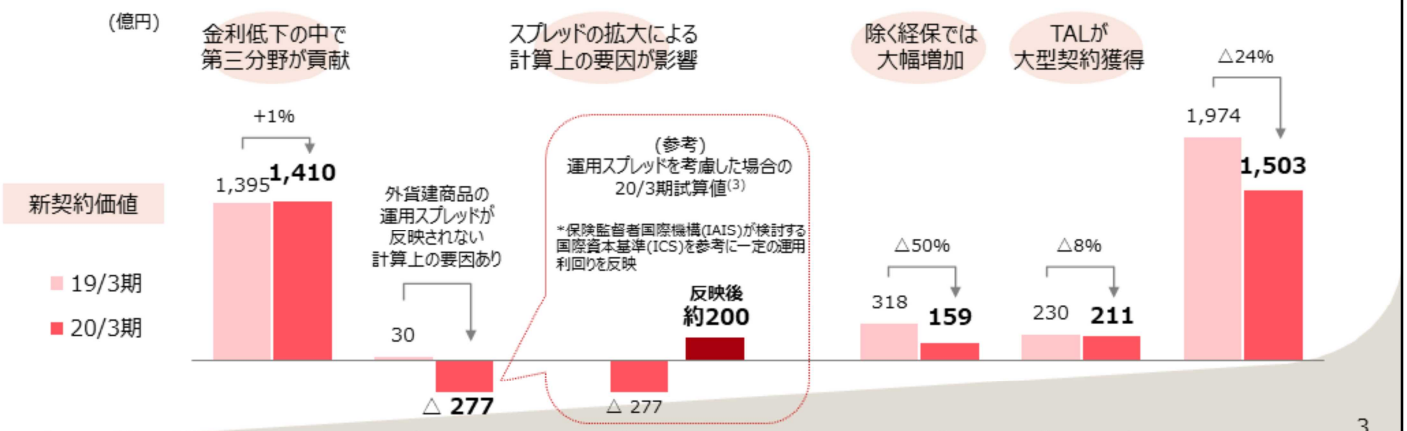
■ 新契約年換算保険料は、経営者保険の販売停止や海外の金利低下の影響等から減少したものの、第三分野商品販売がDLおよびNFLにおいて底堅く推移したほか、海外では豪TALにおける大型団体保険獲得が貢献

■ 新契約価値は、第三分野の貢献もありDLで増加したものの、経営者保険の販売停止や国内外の金利低下の影響に加え、DFL特有の要因も影響し、24%の減少

新契約年換算保険料・新契約価値

［会社名略称］ DL：第一生命 DFL：第一フロンティア生命 NFL：ネオファースト生命

	DL	DFL	NFL	海外生保合計	グループ合計
新契約年換算保険料	896億円（前年比△6%）除く経保+6%(1)	1,198億円（同△42%）	109億円（同△91%）除く経保+68%(1)	1,312億円（同+62%）(2)	3,516億円（同△28%）(2) 除く経保△6%(1) (2)



(1) 19年2月に販売停止とした経営者保険を除く。19年8月よりDLの営業職員等、9月より代理店にて販売を再開しています。 (2) 為替影響を除く。 (3) 第三者の検証を受けていない参考値です。

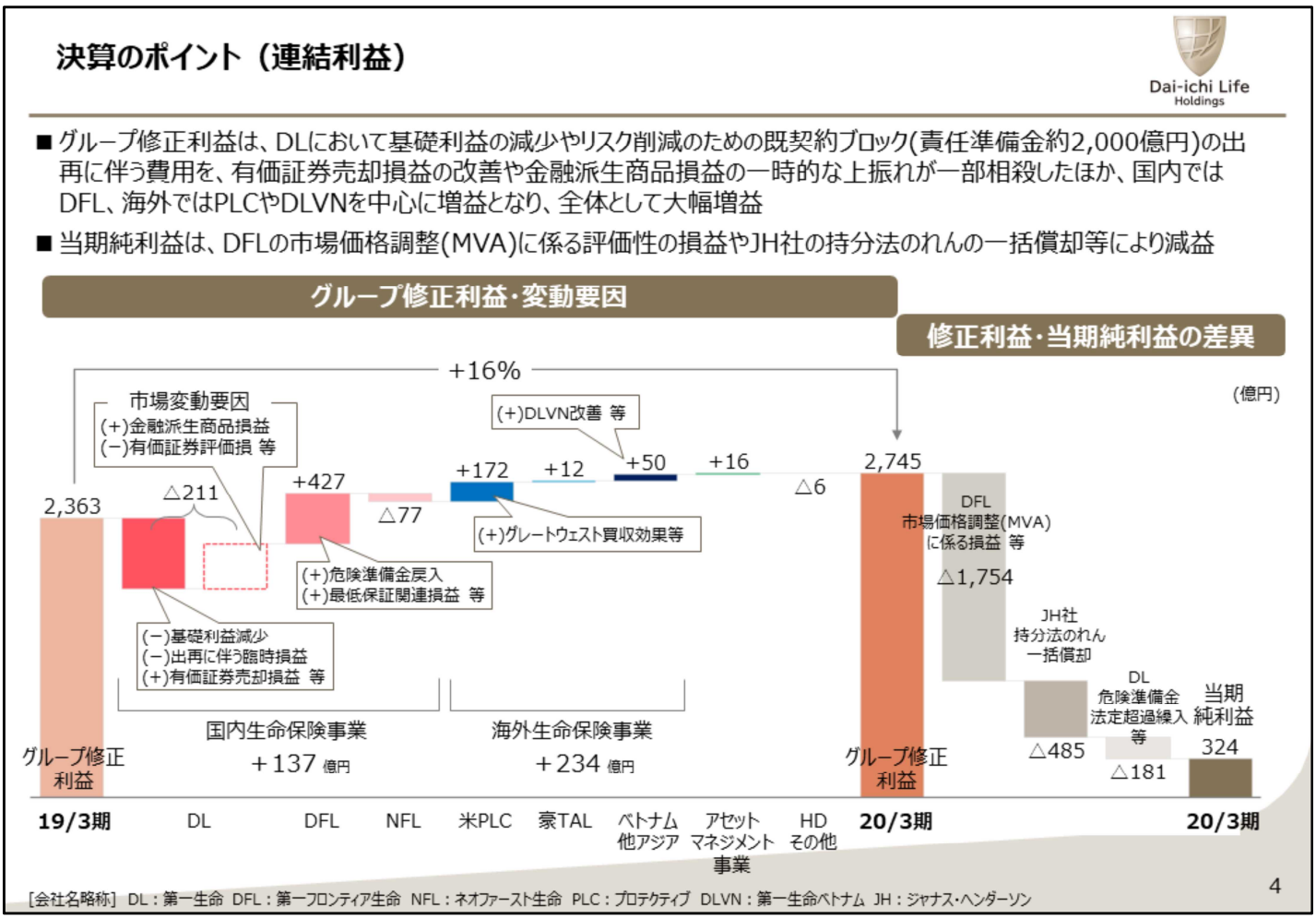
3

■ 営業業績として、新契約年換算保険料と新契約価値の詳細を示しています。

■ 新契約年換算保険料は、国内における経営者保険の販売停止の影響や海外金利の低下による外貨建て商品の販売減速などから、前年比で大幅に減少しました。
- ただし、この中でも、第一生命およびネオファースト生命において、第三分野商品の販売が底堅く推移したほか、海外では豪TALにおける大型の団体契約獲得が貢献し、減少幅を一部相殺しました。
- こうしたことから、経営者保険の減少要因を除く為替一定ベースの新契約は、前年比マイナス6%となりました。

■ 新契約価値は前年比でマイナス24%となりました。
- 第一生命は金利低下や販売停止の影響がある中で、第三分野商品の販売が貢献したほか、TALが獲得した団体契約の一部をグループ内で受再した効果もあり、プラスを確保しました。
- 第一フロンティア生命の新契約価値はマイナス表記となっていますが、これは、EEV計算上、資産運用の期待超過収益が新契約の獲得時には反映されずに、リスクフリーレートによって評価されることから、社債などのスプレッドを超過収益の源泉とする商品については、新契約価値が低く算出されてしまうためです。ただし、このような超過収益は、契約期間の経過とともにEEVの増加に寄与してくると期待されるため、実質的な新契約価値はプラスだと考えています。こうしたことから、今回、運用スプレッドを考慮した新契約価値の補助指標を試算しており、参考として約200億円とお示ししています。
- ネオファースト生命の新契約価値は経営者保険の販売停止の影響によりほぼ半減しました。
- 海外生命保険事業では、ベトナムが増加し、豪TALで大型契約の獲得があった一方で、米プロテクティブは金利低下の影響等によりマイナスとなっており、海外生命保険事業全体では減少しています。

■ 次のページをご覧下さい。



■ グループ修正利益・当期純利益を示しています。

■ グループ修正利益は、前年比16%増加の2,745億円となりました。

- 第一生命の修正利益は約200億円の減益となりました。これは、基礎利益の減少や、既契約ブロック(責任準備金約2,000億円)の出再による戦略的なリスク削減を昨年度の約2倍の規模で実施したことによる臨時損益の悪化に加え、金融市場変動に伴う有価証券評価損の拡大があった一方で、有価証券売却損益の改善や金融派生商品損益の一時的な上振れが一部相殺したものです。
- 第一フロンティア生命では、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入などにより、約400億円の増益となりました。
- 海外生命保険事業では、プロテクティブにおける買収効果の反映や第一生命ベトナムの利益改善を中心に約200億円の増益となりました。

■ 右側にお示しした連結当期純利益は、グループ修正利益から大きく変動していますが、これは、金利低下の影響により、第一フロンティア生命における市場価格調整(MVA)に係る責任準備金の積み増しを行ったことや、ジャナス・ヘンダーソンの株価下落を受けた持分法に係るのれんの一括償却を反映したことが主な要因です。

■ 次のページをご覧下さい。

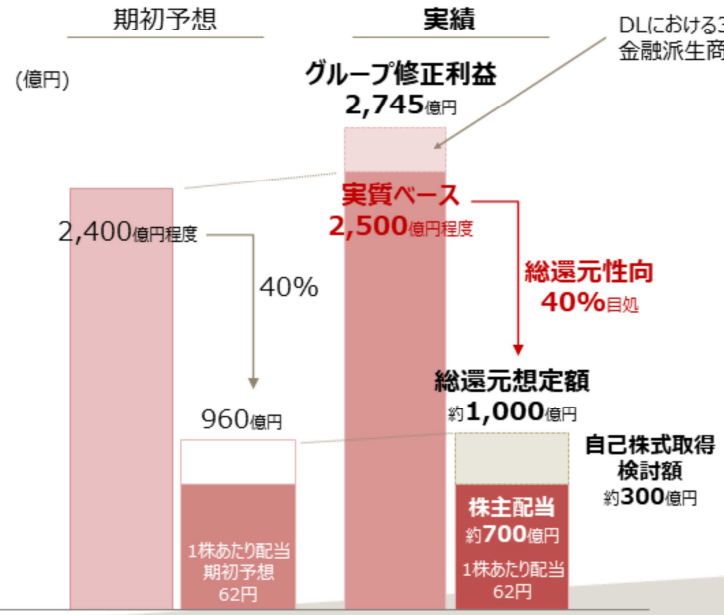
2020年3月期株主還元の考え方

Dai-ichi Life Holdings

■ 2020年3月期の一株あたり配当は62円（総額約700億円）を予定し、自己株式取得は、一時的な評価益を除く実質的な利益水準の約2,500億円に対し、株主配当と併せた総還元性向40%を目処に約300億円を想定して検討

■ 自己株式取得は、新型コロナウイルスの沈静化に向けた状況を慎重に見極めるため、現時点では決定を留保し、今後の国内外グループ各社への影響等を踏まえ、年内を目処に規模を含めて判断する

グループ修正利益と株主還元



自己株式取得

- 実質的なグループ修正利益水準である約2,500億円に対し、株主配当と併せて総還元性向40%目処に相当する約300億円を想定して検討
  (2,745億円に対する総還元性向としては36.5%程度の想定)
- 自己株式取得は現時点では決定を留保し、新型コロナウイルス感染拡大に伴う今後の国内外グループ各社への影響等を踏まえ、年内を目処に規模を含めて判断する

株主配当

- 期初予想通り62円(前年比+4円)への増配を予定

5

■ 株主還元の考え方について補足しています。

■ グループ修正利益は2,745億円で着地しましたが、ここには、3月の急激な金融市場変動に伴う、第一生命の金融派生商品損益の一時的な上振れ要因が含まれています。こうした一時的な要因を控除したものが実質的な利益水準であると考えており、2,500億円を還元原資のベースとして考えています。

■ この一時的な要因について詳しく説明します。

- 今般の金融派生商品損益の上振れは、主に為替ヘッジ付外貨建債券の含み損益に対する為替ヘッジに伴うものであり、ヘッジ会計を適用していないため、期末時点の金融環境による時価評価が、直接、損益計算書に影響してきます。
- 3月の海外金利の急激な低下と為替変動により生じた評価益は大きく、また、今後の相場次第で評価損に転じる可能性もあることから、実質的な利益ではないと考えています。

■ 冒頭申し上げた通り、総還元性向は40%を目処に、総還元額は約1,000億円を想定しますが、自己株式取得については、配当総額約700億円との差額を想定して検討するものの、新型コロナウイルスの沈静化に向けた状況を見極めるため現時点では留保し、年内を目処に判断します。

■ 次のページをご覧下さい。

第一生命グループ業績予想 – 2021年3月期業績予想

Dai-ichi Life Holdings

■ 業績予想の判断には、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、国内外グループ各社の営業活動、保険金支払、ならびに資産運用への影響を見極める必要があり、合理的に見通すことが現時点で困難な状況

■ 2021年3月期の一株あたり配当予想は、前年度と同水準の62円を見込むものの、業績予想は年内を目処に今後の状況を見極め次第、速やかに開示する予定

（億円）

	20/3期	21/3期（予）	増減
連結経常収益	**71,140**	年内を目途に 今後の状況を踏まえて 速やかに開示する予定	
第一生命	36,806		
第一フロンティア生命	20,650		
プロテクティブ（百万米ドル）	12,744		
TAL（百万豪ドル）	5,808		
連結経常利益	**2,183**		
第一生命	2,906		
第一フロンティア生命	△ 944		
プロテクティブ（百万米ドル）	577		
TAL（百万豪ドル）	207		
連結純利益(1)	**324**		
第一生命	1,286		
第一フロンティア生命	△ 1,000		
プロテクティブ（百万米ドル）	463		
TAL（百万豪ドル）	154		
1株当たり配当金	**62円**	**62円**	-
グループ修正利益	**2,745**		
（参考：基礎利益）			
第一生命グループ	5,349		
第一生命	4,221		

業績予想における主な未確定要因

国内外グループ各社における

- 非常事態宣言や都市封鎖、および経済活動の低下に伴う生命保険販売の営業活動への影響
- 新型コロナウイルスを原因・起因とする保険金支払等への影響
- 新型コロナウイルス等を起因とする世界の金融市場の急激な変動、経済活動の低下に伴う投融資先への影響　等

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載しています。

6

■ 2021年3月期の業績予想について説明します。

■ 現時点では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、国内外グループ各社への営業活動、保険金支払、ならびに資産運用への影響等を合理的に見通すことは困難であると考えておりますため、業績予想は、今後の状況を見極めた上で、年内を目処に開示する予定です。

■ なお、このような中においても、安定した株主配当は継続したいと考えており、一株あたり配当の予想は前年度と同水準の62円としています。

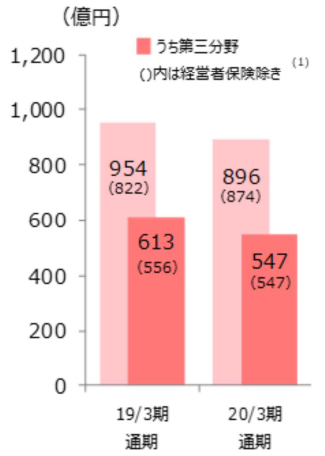
■ 次のページをご覧ください。

国内生命保険事業 – 第一生命

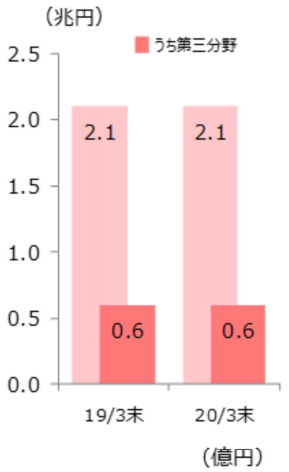
Dai-ichi Life Holdings

- 新契約年換算保険料は減少したが、就業不能保険などの販売が堅調に推移し、経営者保険を除けば増加
- 当期純利益・修正利益は、基礎利益の減益・既契約ブロックの出再に伴う臨時損益の計上によるマイナス要因を、有価証券売却損益の改善や金融派生商品損益の一時的な上振れなどプラス要因が一部相殺

新契約年換算保険料



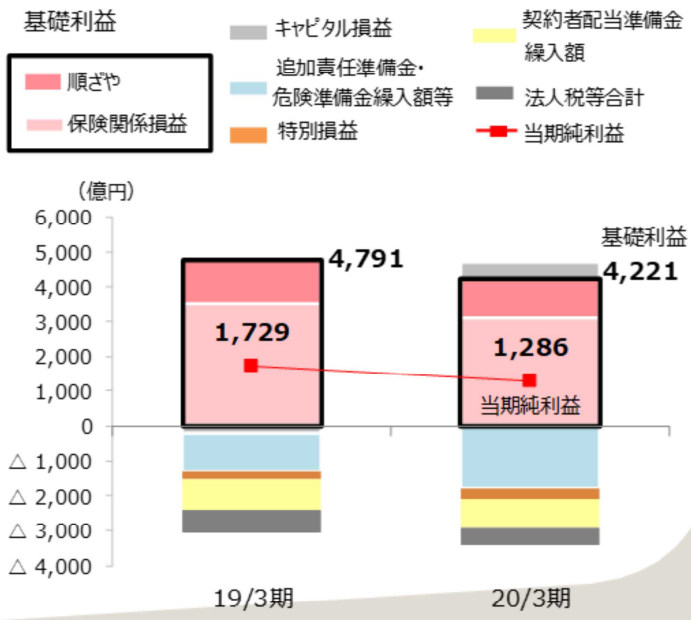
保有契約年換算保険料



(億円)

	19/3期 累計	20/3期 累計	増減
当期純利益	1,729	1,286	△442
修正利益	1,714	1,502	△211

基礎利益・当期純利益の構成要素



(1) 19年2月より販売停止としていた経営者保険を除く。19年8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、 19年9月より代理店にて販売を再開しています。

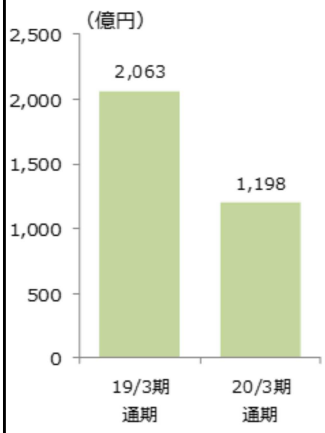
- グループ各社の状況を説明します。まず、第一生命の状況です。
- 新契約年換算保険料は、経営者保険の販売停止などにより全体で減少しましたが、経営者保険を除けば、「認知症保険」や「就業不能保険」などの商品展開が奏功し、前年同期比で増加を確保しています。
- 基礎利益は、円高・低金利環境継続による順ざやの減少や保険関係損益の悪化から減益となりました。
- 当期純利益・修正利益については、基礎利益の減少に加え、既契約ブロック(責任準備金約2,000億円)の出再による一時的な費用として、約700億円を計上したため減益となりました。

- 次のページをご覧ください。

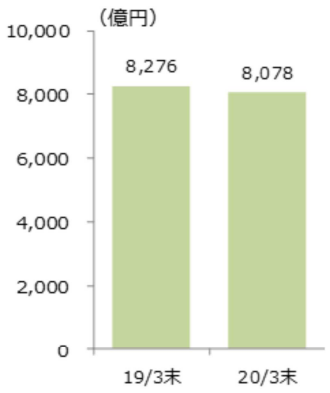
国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命

- 新契約年換算保険料は、海外金利低下等に伴い、販売が好調であった前年度から鈍化したことにより、大きく減少
- 金利低下に伴う市場価格調整(MVA)に係る評価性の損益の大幅な悪化により、当期純利益は赤字となったが、修正利益は運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入により大幅増益

新契約年換算保険料



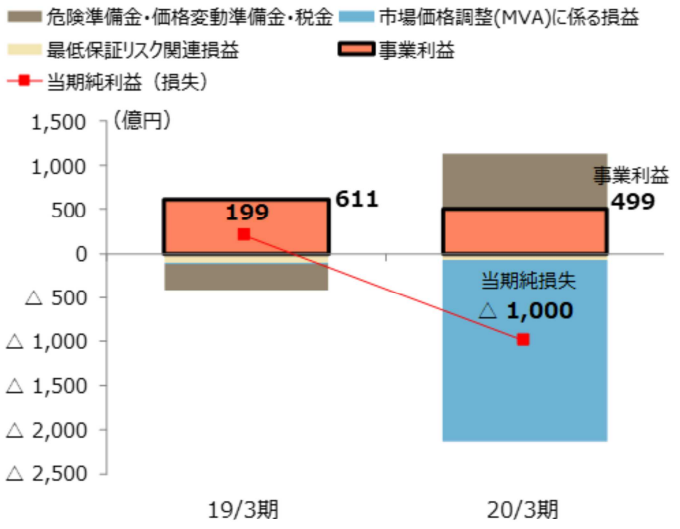
保有契約年換算保険料



(億円)

	19/3期 累計	20/3期 累計	増減
当期純利益	199	△1,000	△1,200
修正利益	207	634	+427

事業利益・当期純利益の構成要素



事業利益は、純利益から最低保証リスク関連損益、市場価格調整(MVA)に係る損益、危険準備金の繰入等を除いた基礎的な収益力を表す内部管理指標です。

- 第一フロンティア生命の状況です。
- 新契約年換算保険料は、海外金利の低下の影響などにより、販売が好調であった外貨建て商品の販売が前期比で大きく反動減となりました。また為替レートの変動により、保有契約年換算保険料も減少しました。
- 当期純利益は、前述したMVA損益の影響で赤字となりましたが、この影響を除く修正利益は、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入などにより、大幅な増益となりました。

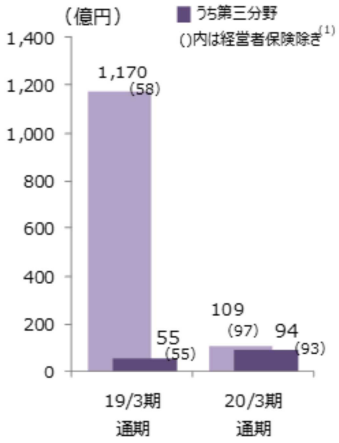
- 次のページをご覧ください。

国内生命保険事業 – ネオファースト生命

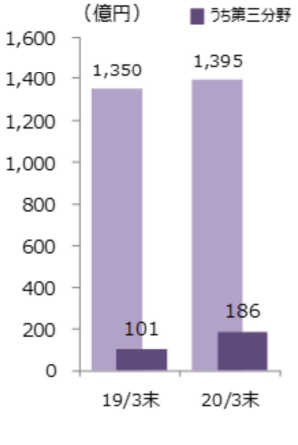
Dai-ichi Life Holdings

- 新契約年換算保険料は、経営者保険の販売停止により前年比で大きく減少したが、主力の医療保険などの第三分野商品の販売は引き続き好調を維持し、保有契約も順調に拡大
- 修正利益・当期純利益は減益となったが、医療保険等の販売拡大に伴う事業費増加が主な要因

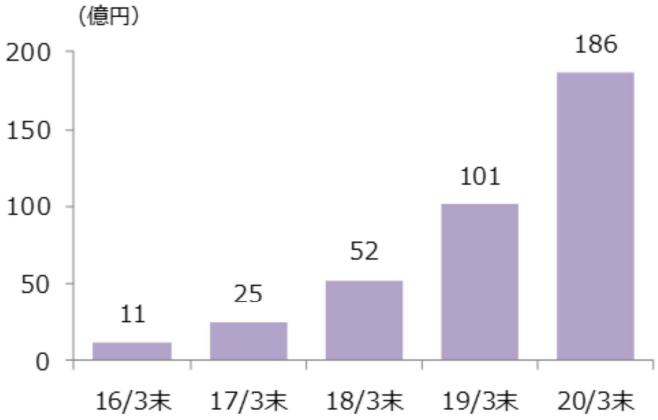
新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



第三分野保有契約年換算保険料



(億円)

	19/3期 累計	20/3期 累計	増減
当期純利益	△85	△163	△77
修正利益	△85	△163	△77

(1) 19年2月より販売停止としていた経営者向け保険商品を除く。19年8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、19年9月より代理店にて販売を再開しています。

- ネオファースト生命の状況です。
- 新契約年換算保険料は、昨年度に販売が拡大した経営者保険の販売停止により大きく減少したものの、主力である医療保険を中心とする第三分野商品は、大きく増加しました。
- これに伴い、保有契約年換算保険料も伸展しています。
- 修正利益は、新契約に係る事業費が増加し減益となりましたが、医療保険の販売好調に伴うものであります。

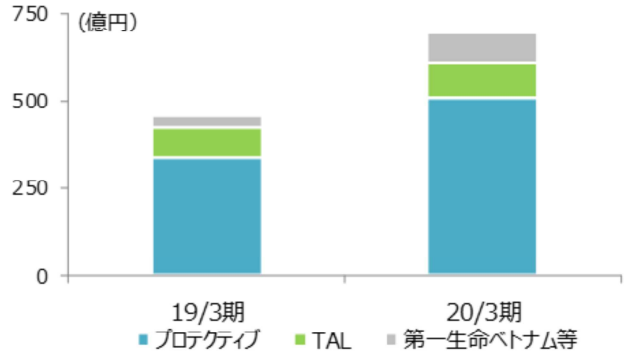
- 次のページをご覧ください。

海外生命保険事業・アセットマネジメント事業

Dai-ichi Life Holdings

- 海外生保事業は、米プロテクティブにおける既契約ブロック買収効果や第一生命ベトナムの利益改善に加え、豪TALにおけるアステロン・ライフ買収効果が反映され、大幅増益
- アセットマネジメント事業は、ジャナス・ヘンダーソンの持分法投資損益が昨年度第2四半期から反映し増益

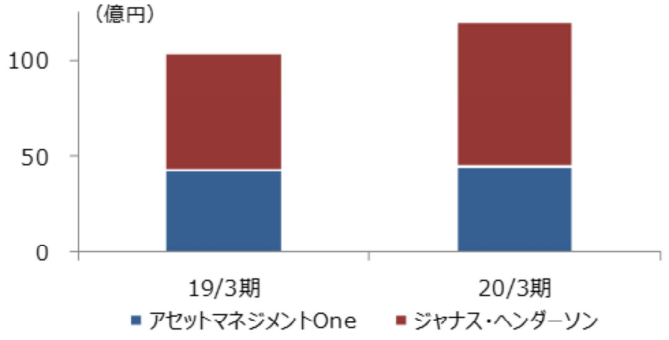
海外生命保険事業・当期純利益



(億円)

	19/3期	20/3期	増減
プロテクティブ	335	507	+172
TAL	87	102	+14
第一生命ベトナム等	35	85	+50
海外生命保険事業	458	695	+236

アセットマネジメント事業・当期純利益



(億円)

	19/3期	20/3期	増減
アセットマネジメントOne	43	45	+1
ジャナス・ヘンダーソン	61	75	+14
アセットマネジメント事業	104	120	+16

- 海外生命保険事業では、各社が順調に利益を伸ばし、全体として大幅増益となりました。後ほど詳しく説明します。
- アセットマネジメント事業では、ジャナス・ヘンダーソンの持分法投資損益が昨年度第2四半期から貢献していることを主因に増益となっています。

- 次のページをご覧ください。

海外生命保険事業 – プロテクティブ(1)

■ 大型既契約ブロック買収効果の反映などにより増益

＜生保事業＞
- 金利低下に伴う繰延新契約費用等の償却増加により減益

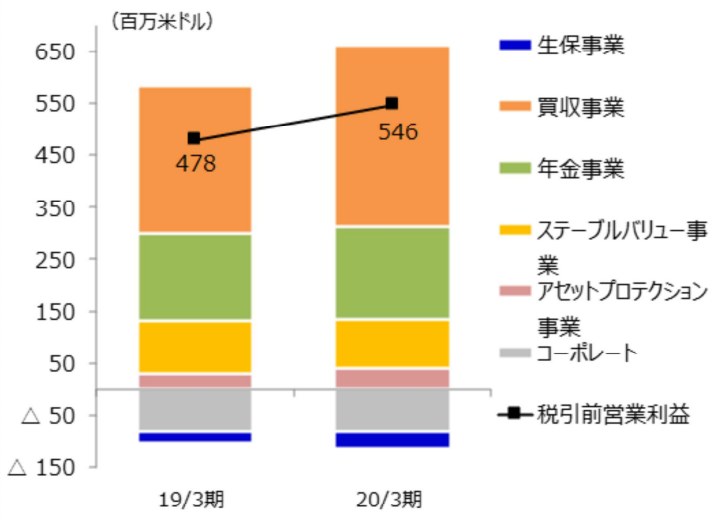
＜買収事業＞
- リバティライフやグレートウェストの既契約ブロック買収が寄与

＜年金事業＞
- 変額年金の預かり資産増加による増益を定額年金の収益低下が一部相殺

＜ステーブルバリュー事業＞
- 金利スプレッドの縮小により減益

＜アセットプロテクション事業＞
- 損害率の改善やサービス契約収入増加により増益

税引前営業利益(2)



（億円）

	19/3期	20/3期	増減
当期純利益	335	507	+172
修正利益	335	507	+172

(1) プロテクティブの決算日は12月31日です。
(2) 税引前営業利益(Pre-tax Adjusted Operating Income)とは、純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

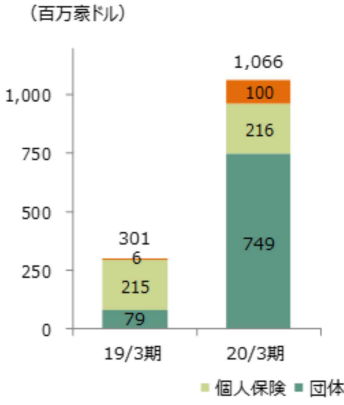
■ プロテクティブの状況です。
■ 税引前営業利益は、主に大型既契約ブロック買収効果が反映されたことなどから、全体では増益となりました。

■ 次のページをご覧ください。

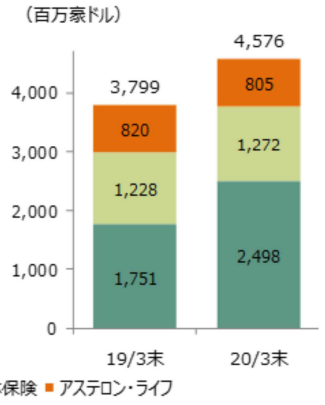
海外生命保険事業 – TAL(1)

- 新契約年換算保険料および保有契約年換算保険料は、大型団体保険契約の獲得により大幅に増加
- 当期純利益は、法改正の影響で保険金支払が増加したが、アステロン・ライフ買収効果がこれを上回り、増益

新契約年換算保険料



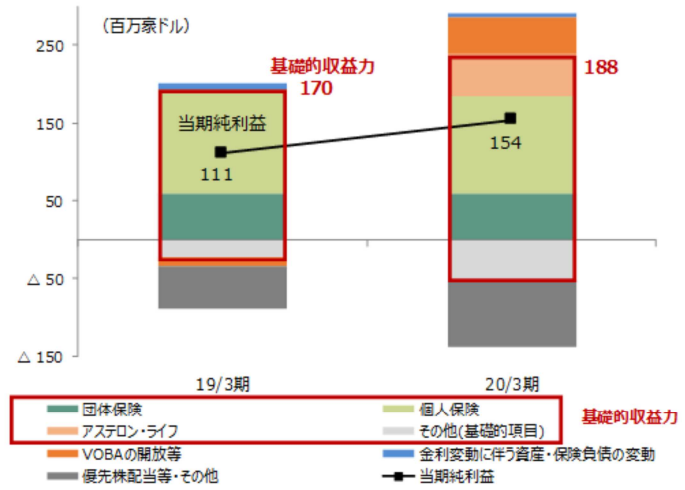
保有契約年換算保険料



（億円）

	19/3期	20/3期	増減
当期純利益	87	102	+14
修正利益	98	110	+12

基礎的収益力・当期純利益の構成要素



(1) 連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値

12

- TALの状況です。
- 新契約年換算保険料および保有契約年換算保険料は、大型団体保険契約の獲得やアステロン・ライフ買収の効果により大幅に増加しました。
- 当期純利益は、法改正を契機として保険金支払が増加しましたが、アステロン・ライフ買収の効果により増益となりました。

- ２ページ先へお進みください。

グループEEV

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

Dai-ichi Life Holdings

- グループEEVは、DLにおける有価証券の含み益の減少およびDFLにおける社債スプレッドの拡大による計算上の評価額低下に伴い減少
- グループ新契約価値はDFLにおける同様の影響に加え、経営者保険販売停止の影響を受け減少

【第一生命グループ】 （億円）

			19/3末	20/3末	増減
グループEEV			59,365	56,219	△3,145
	対象事業（covered business）のEEV(1)		61,287	57,613	△3,674
		修正純資産	71,278	66,293	△4,984
		保有契約価値	△ 9,991	△ 8,680	+1,310
	対象事業以外の純資産等に係る調整(2)		△ 1,922	△ 1,393	+528

（億円）

	19/3期	20/3期	増減
新契約価値（A）	1,974	1,503	△471
収入保険料現価　（B）	52,198	45,247	△6,950
新契約マージン　（A/B）	3.78%	3.32%	△ 0.46ポイント

(1) 対象事業（covered business）とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています。第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社（第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ、TAL、第一生命ベトナムおよびこれらの子会社）を対象事業としました。

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部（19/3末：12,571億円、20/3末：12,502億円）、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整（19/3末：△14,666億円、20/3末：△14,462億円）、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます。

- 最後にグループEEVの状況についてご説明します。
- グループEEVは約5.6兆円と、前期末から減少しました。第一生命の有価証券含み益が減少したことや、第一フロンティア生命において社債スプレッドの拡大が保有契約価値の評価に影響したことが主な要因です。
- 新契約価値は、冒頭３ページで説明した通り、前期比で減少しました。なおアジアにおける関連会社3社を加えたグループ新契約価値は1,519億円となります。
- 新契約マージンの悪化は、主に社債スプレッドの拡大が第一フロンティア生命における新契約価値の評価に影響したものです。

- 私からの説明は以上です。
- 5月21日には決算・経営説明会を開催します。電話会議形式となりますが、是非御参加ください。本日はありがとうございました。

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

Dai-ichi Life Holdings

【グループ各社（国内）のEEV】

（億円）

第一生命	19/3末	20/3末	増減
EEV	45,505	42,964	△2,540
修正純資産	60,590	56,310	△4,279
保有契約価値	△ 15,085	△ 13,346	＋1,739

（億円）

	19/3期	20/3期	増減
新契約価値	1,395	1,410	＋15
収入保険料現価	18,882	20,614	＋1,731
新契約マージン	7.39%	6.84%	△ 0.55ポイント

（億円）

第一フロンティア生命	19/3末	20/3末	増減
EEV	4,168	1,912	△2,256
修正純資産	4,294	3,782	△511
保有契約価値	△ 126	△ 1,870	△1,744
EEVに一定の運用利回りを反映した試算値（※）	約5,200	約4,700	約△600

（億円）

	19/3期	20/3期	増減
新契約価値	30	△ 277	△308
収入保険料現価	17,734	11,661	△6,072
新契約マージン	0.17%	△ 2.38%	△ 2.55ポイント
新契約価値に一定の運用利回りを反映した試算値（※）	-	約200	-

（億円）

ネオファースト生命	19/3末	20/3末	増減
EEV	937	1,147	＋209
修正純資産	207	45	△162
保有契約価値	730	1,102	＋371

（億円）

	19/3期	20/3期	増減
新契約価値	318	159	△159
収入保険料現価	6,493	1,561	△4,932
新契約マージン	4.90%	10.19%	＋ 5.29ポイント
新契約価値 *	324	210	△114
新契約マージン*	5.00%	13.46%	＋ 8.46ポイント

*均衡事業費ベース

（※）第一フロンティア生命については、保険監督者国際機構(IAIS)が検討する国際資本基準(ICS)を参考に一定の運用利回りを反映した試算値を記載しております。
当該試算値は、第三者の検証を受けていないため、今後の検証の結果では水準が変動する可能性があります。

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)

Dai-ichi Life Holdings

【グループ各社（海外）のEEV】

(億円)

プロテクティブ	18/12末	19/12末	増減
EEV	6,627	7,653	+1,025
修正純資産	4,241	4,104	△136
保有契約価値	2,386	3,549	+1,162
※換算為替レート（円/米ドル）	111.00	109.56	

(億円)

	18/12期	19/12期	増減
新契約価値	35	△38	△74
収入保険料現価	5,997	6,258	+261
新契約マージン	0.59%	△ 0.62%	△ 1.21ポイント
※換算為替レート（円/米ドル）	111.00	109.56	

(億円)

ＴＡＬ	19/3末	20/3末	増減
EEV	3,399	3,172	△226
修正純資産	1,759	1,788	+29
保有契約価値	1,640	1,384	△255
※換算為替レート（円/豪ドル）	78.64	66.09	

(億円)

	19/3期	20/3期	増減
新契約価値	108	150	+41
収入保険料現価	2,070	5,653	+3,582
新契約マージン	5.24%	2.65%	△ 2.59ポイント
※換算為替レート（円/豪ドル）	78.64	66.09	

(億円)

第一生命ベトナム	18/12末	19/12末	増減
EEV	853	944	+90
修正純資産	390	443	+53
保有契約価値	463	500	+37
※換算為替レート（円/越ドン）	0.0048	0.0047	

(億円)

	18/12期	19/12期	増減
新契約価値	87	100	+ 13
収入保険料現価	1,020	948	△72
新契約マージン	8.54%	10.57%	+ 2.02ポイント
※換算為替レート（円/越ドン）	0.0048	0.0047	

第一生命グループ及び第一生命のEEV感応度（2020年3月末）

Dai-ichi Life Holdings

第一生命グループ

（単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率）

前提条件	EEV感応度	対象事業のEEV			対象事業以外の純資産等に係る調整	新契約価値
			修正純資産	保有契約価値		
リスク・フリー・レート50bp上昇	4,200 7%	4,136 7%	△ 15,108 △ 27%	19,245 34%	63 0%	114 8%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 5,213 △ 9%	△ 5,147 △ 9%	16,889 30%	△ 22,037 △ 39%	△ 65 △ 0%	△ 147 △ 10%
株式・不動産価値10%下落	△ 3,942 △ 7%	△ 3,792 △ 7%	△ 3,573 △ 6%	△ 218 △ 0%	△ 150 △ 0%	0 0%
第一生命グループのEEV	56,219	57,613			△ 1,393	1,503

第一生命

（単位：億円、上段：変化額、下段：EEVに対する変化率）

前提条件	EEV感応度			新契約価値
		修正純資産	保有契約価値	
リスク・フリー・レート50bp上昇	3,956 9%	△ 13,295 △ 31%	17,251 40%	94 7%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 4,829 △ 11%	14,949 35%	△ 19,778 △ 46%	△ 128 △ 9%
株式・不動産価値10%下落	△ 3,672 △ 9%	△ 3,690 △ 9%	17 0%	1 0%
第一生命のEEV	42,964			1,410

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

Dai-ichi Life Holdings

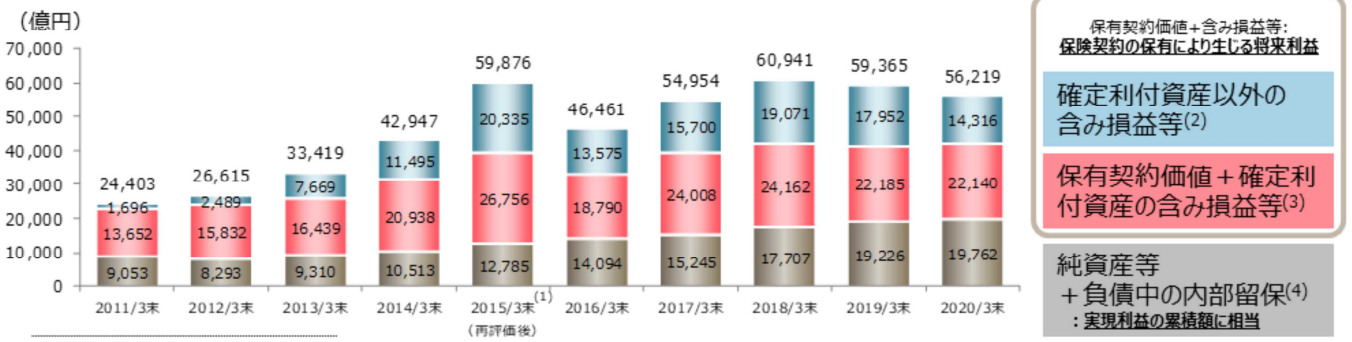
第一生命グループのEEV（億円）

	19/3末	20/3末	増減
グループEEV	59,365	56,219	△3,145
対象事業（covered business）のEEV	61,287	57,613	△3,674
修正純資産	71,278	66,293	△4,984
保有契約価値	△ 9,991	△ 8,680	+1,310
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 1,922	△ 1,393	+528

資産・負債の対応を考慮した再分類

	19/3末	20/3末
グループEEV	59,365	56,219
確定利付資産以外の含み損益等(2)	17,952	14,316
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等(3)	22,185	22,140
純資産等+負債中の内部留保(4)	19,226	19,762

第一生命グループのEEV推移 【資産・負債の対応を考慮した再分類】



保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等(2)

保有契約価値＋確定利付資産の含み損益等(3)

純資産等
＋負債中の内部留保(4)
：**実現利益の累積額に相当**

(1) 2015/3末のEVは、終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載しております。
(2) 第一生命が保有する確定利付資産以外の資産（株式、外貨建債券（ヘッジ外債を除く）、不動産等）の含み損益等の額を計上しています。
(3) 保有契約価値に、第一生命の確定利付資産ならびに第一フロンティア生命およびネオファースト生命の資産の含み損益等を加算・調整した額を計上しています。本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります。
(4) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上しています。

参考データ

グループ中期経営計画「CONNECT 2020」の計数目標について

Dai-ichi Life Holdings

目標値・中長期的に目指す水準

経営目標（計数目標）

会計利益

グループ修正利益
2021年3月期
2,500億円程度

将来利益

グループ新契約価値
2021年3月期
2,300億円程度

中長期的に目指す姿

資本効率

EEV成長率(ROEV)
中長期的に
平均８%成長

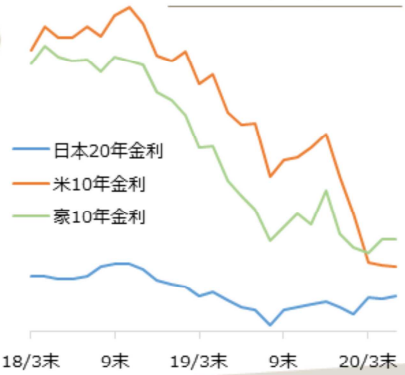
健全性

資本充足率(経済価値)
中長期的な時間軸で
170～200%

足元の外部環境

✓ 新型コロナ感染拡大・影響長期化に伴う不確実性
- 保険金等支払の増加
- 世界的な景気低迷や営業活動の制限による新契約の減少
- 資産運用収益の悪化

金融市場(金利)の状況



2021年3月期 中計最終年度目標

▶ 業績見通し同様に未定とし、年内を目処に公表予定

▶ 目指す姿の水準の安定確保に向けた取組を継続

第一生命グループ業績 – 連結主要業績

（億円）　<参考>

	19/3期	20/3期（a）	前年比		20/3期（予）4/30発表予想(b)	達成率 (a/b)
連結経常収益	**71,840**	**71,140**	**△ 699**	**△ 1%**	**71,140**	**100%**
第一生命	37,395	36,806	△ 589	△ 2%		
第一フロンティア生命	20,369	20,650	+ 280	+ 1%		
プロテクティブ（百万米ドル）(1)	8,717	12,744	+ 4,027	+ 46%		
TAL（百万豪ドル）(1)	3,917	5,808	+ 1,891	+ 48%		
連結経常利益	**4,329**	**2,183**	**△ 2,145**	**△ 50%**	**2,180**	**100%**
第一生命	3,466	2,906	△ 559	△ 16%		
第一フロンティア生命	391	△ 944	△ 1,336	--		
プロテクティブ（百万米ドル）	383	577	+ 193	+ 50%		
TAL（百万豪ドル）	153	207	+ 53	+ 35%		
連結純利益(2)	**2,250**	**324**	**△ 1,926**	**△ 86%**	**320**	**101%**
第一生命	1,729	1,286	△ 442	△ 26%		
第一フロンティア生命	199	△ 1,000	△ 1,200	--		
プロテクティブ（百万米ドル）	302	463	+ 161	+ 53%		
TAL（百万豪ドル）	111	154	+ 43	+ 39%		
グループ修正利益	**2,363**	**2,745**	**+ 382**	**+ 16%**	**2,740程度**	**100%**

＊2020年4月30日発表の業績予想修正時にはグループ各社別の業績予想値は発表しておりません。

(1)　米プロテクティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。
連結の際には、それぞれ1米ドル=111.00円（19/3期）、109.56円（20/3期）、1豪ドル=78.64円（19/3期）、66.09円（20/3期）で円換算しています。

(2)　連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

第一生命グループ業績 – 契約動向

Dai-ichi Life Holdings

	新契約年換算保険料			保有契約年換算保険料		
（億円）	19/3期	20/3期	前年比	19/3末	20/3末	前期末比
国内３社計	4,189	2,204	△47.4%	30,924	30,578	△1.1%
第一生命	954	896	△6.0%	21,297	21,104	△0.9%
第三分野	613	547	△10.8%	6,752	6,947	+2.9%
第一フロンティア生命	2,063	1,198	△41.9%	8,276	8,078	△2.4%
ネオファースト生命	1,170	109	△90.6%	1,350	1,395	+3.3%
海外４社計	898	1,312	+46.1% (+62.1%)	8,634	9,119	+5.6% (+13.3%)
プロテクティブ (1)	413	390	△5.5% (△4.3%)	5,070	5,457	+7.6% (+9.1%)
ＴＡＬ	236	705	+197.7% (+254.2%)	2,988	3,024	+1.2% (+20.5%)
第一生命ベトナム (1)	248	216	△12.8% (△10.9%)	575	636	+10.6% (+12.9%)
第一生命カンボジア (1)	-	0.3	-	-	0.3	-
第一生命グループ計	**5,087**	**3,516**	**▲30.9% (▲28.0%)**	**39,558**	**39,697**	**+0.4% (+2.0%)**

上段は円換算、下段は現地通貨建の変化率
海外4社計、グループ計の下段は為替変動の影響を除く伸び率

<参考>
第一生命のチャネル別新契約年換算保険料 （億円）

	19/3期	20/3期	増減
第一生命	954	896	△ 57
訪問型代理店	74	35	△ 38
第一フロンティア生命	2,063	1,198	△ 865
第一生命の営業職	334	266	△ 67
同、訪問型代理店	16	25	＋ 8
ネオファースト生命	1,170	109	△ 1,061
第一生命の営業職	207	4	△ 202
同、訪問型代理店	896	32	△ 863
国内生保事業計	**4,189**	**2,204**	**△ 1,984**

(1) プロテクティブ、第一生命ベトナム、第一生命カンボジアの決算日は12月31日です。

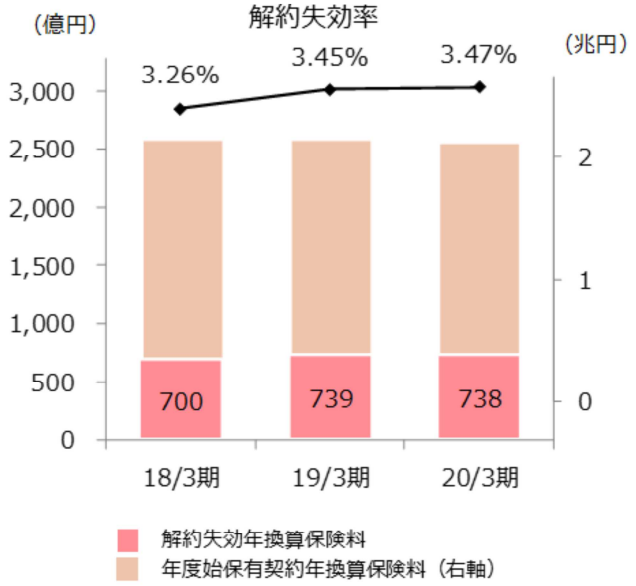
第一生命業績 – 基礎利益の内訳

（億円）

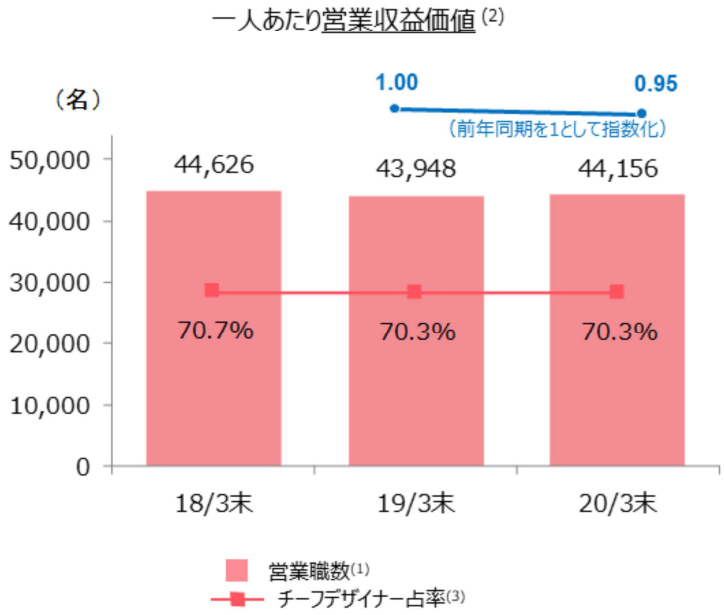
	19/3期	20/3期	増減
基礎利益	4,791	4,221	△ 570
うち順ざや	1,263	1,095	△ 167
うち保険関係損益	3,528	3,126	△ 402
キャピタル損益	△ 202	494	+697
うち有価証券売却損益	1,363	1,504	+141
うち金融派生商品損益	△ 482	519	+1,002
うち為替差損益	△ 959	△ 938	+20
臨時損益	△ 1,122	△ 1,809	△ 686
うち新規追加責任準備金繰入額	△ 818	△ 795	+23
うち危険準備金繰入額	-	△ 300	△ 300
うち再保険料（新規締結分）	△ 1,289	△ 2,702	△ 1,413
うち出再に伴う責任準備金戻入額	986	1,994	+1,008
経常利益	3,466	2,906	△ 559

第一生命業績 – 解約失効、営業職数および生産性

解約失効（個人保険・個人年金、年換算保険料ベース）



営業職数および生産性

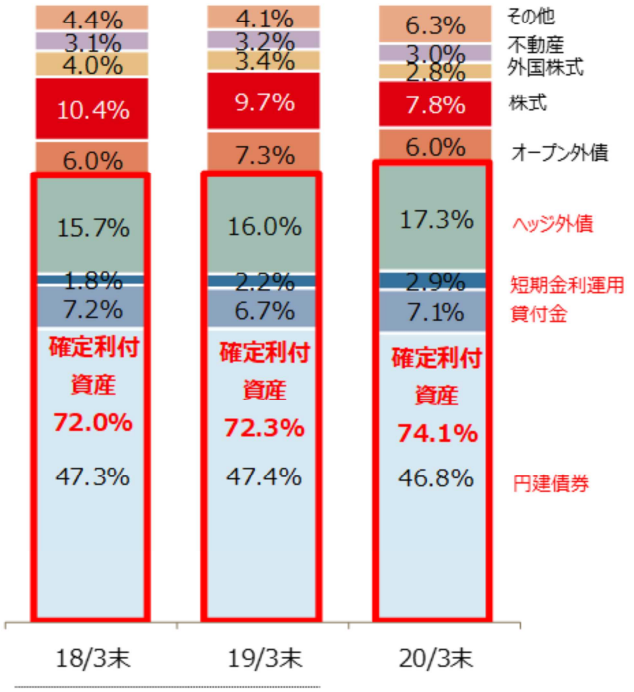


(1) 営業職については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
(2) 各期間における営業収益価値を分子、各期間の営業職数（補助的業務に従事する者を除く）の平均値を分母として計算しています。営業収益価値とは、営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除外した新契約価値に相当します。
(3) 所定の成績水準を満たす生涯設計デザイナーにライフプロフェッショナル職を加えた、第一生命の中核たる営業職の占率を指します。

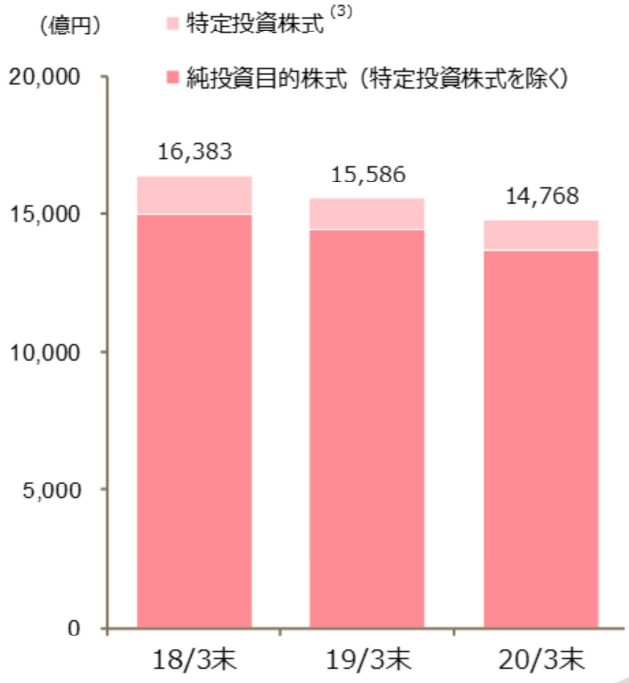
第一生命業績 – 一般勘定資産運用の状況 (1)

Dai-ichi Life Holdings

資産の構成（一般勘定） (1)



国内株式の簿価 (2)

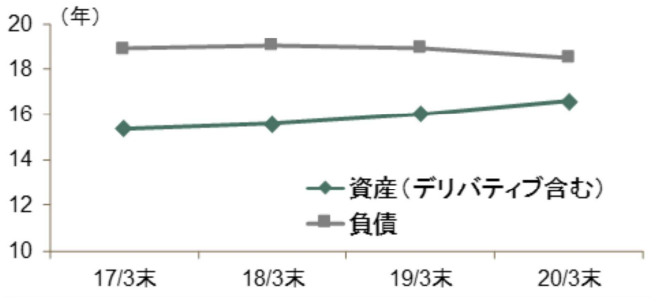


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国内株式のうち時価のあるもの（子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く）
(3) 純投資目的以外の目的で保有する株式（非上場国内株式、みなし保有株式は除く）

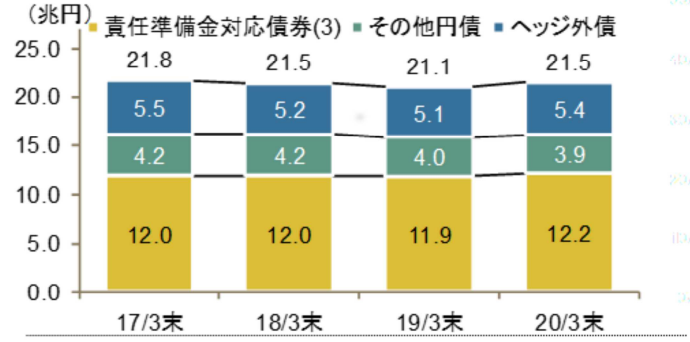
第一生命業績 – 一般勘定資産運用の状況 (2)

Dai-ichi Life Holdings

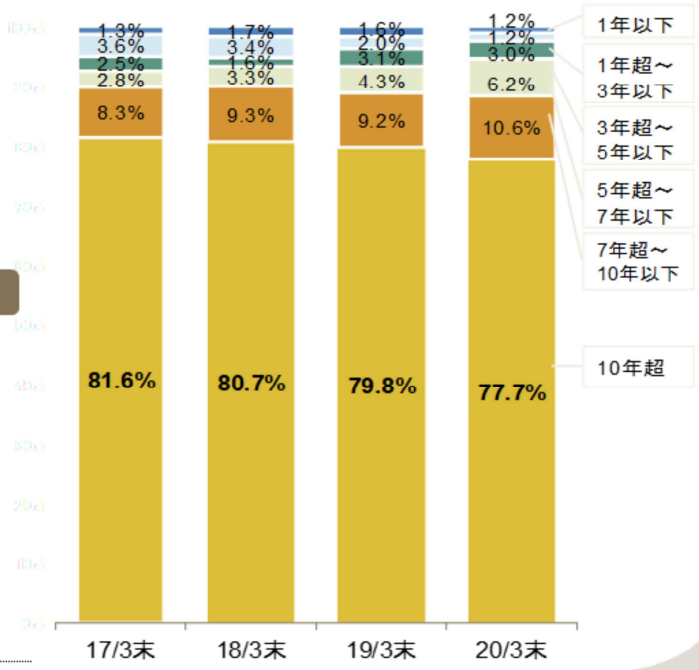
確定利付資産と負債のデュレーション (1)



債券の積み増し状況 (2)



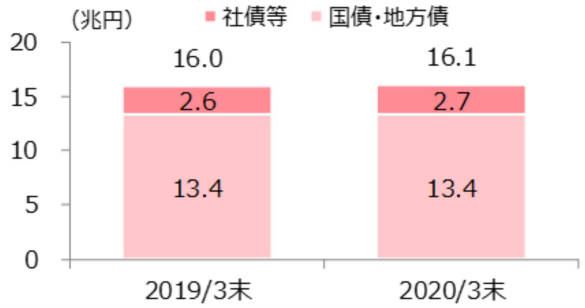
国内債券の残存期間 (4)



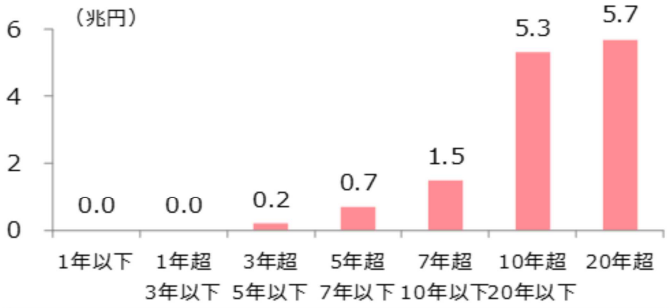
(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の会計上のデュレーション
(2) 一般勘定資産のうち円建債券とヘッジ外債を対象としています。簿価ベース
(3) 責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指します。
(4) 一般勘定資産のうち国内債券を対象としています。貸借対照表価額ベース

第一生命業績 – 一般勘定資産運用の状況（３）

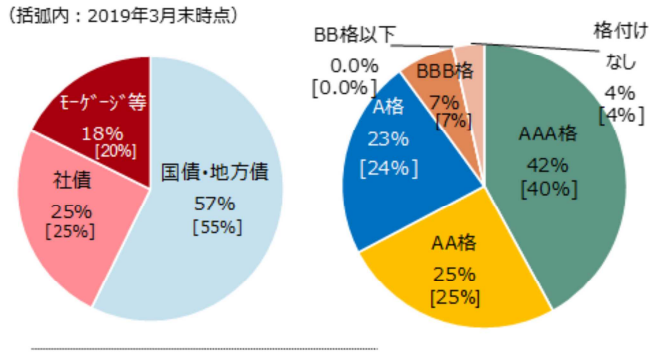
円建債券の内訳 (1)



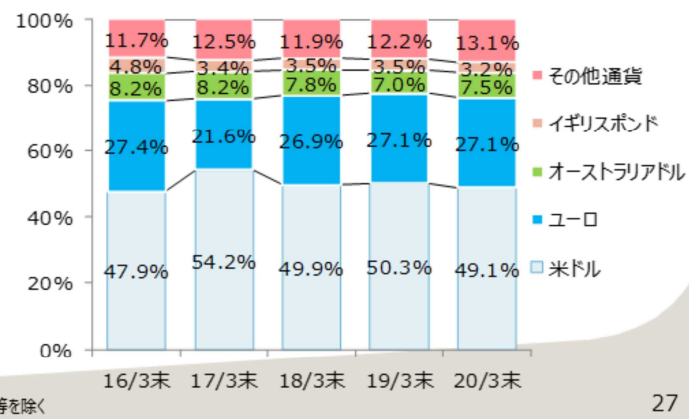
国債の残存期間別残高 (2)　(2020年3月末)



外貨建債券の内訳 (2)(3)　(2020年3月末)



外貨建債券の通貨別構成 (2)



(1)　簿価ベース
(2)　貸借対照表価額ベース
(3)　格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

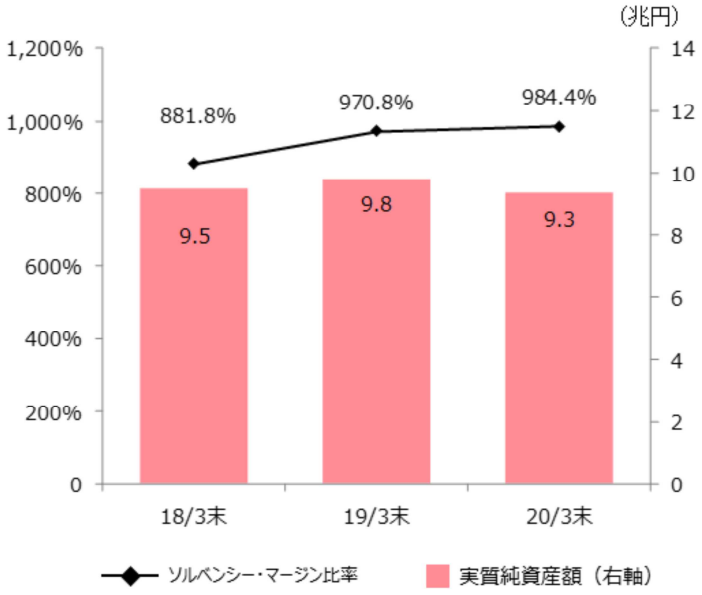
第一生命業績 – 健全性指標

含み損益（一般勘定）

（億円）

	19/3末	20/3末	増減
有価証券	60,386	54,238	△6,148
国内債券	34,776	32,216	△2,559
国内株式	17,913	12,611	△5,302
外国債券	6,026	8,643	+2,616
外国株式	1,336	523	△812
不動産	2,742	3,326	+584
その他共計	63,339	58,021	△5,318

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



＜参考＞ 第一生命ホールディングスの
連結ソルベンシー・マージン比率：
2020年3月末 884.1%

第一生命業績 – 金融市場への感応度（2020年3月末）

Dai-ichi Life Holdings

	感応度 (1)	含み損益ゼロ水準 (2)
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,400億円の増減 （2019年3月末：1,500億円）	日経平均株価 ¥10,200 （2019年3月末：¥9,900）
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,700億円の増減※ （2019年3月末：2,700億円） ※その他有価証券区分：300億円の増減 （2019年3月末：300億円）	10年国債利回り 1.2%※ （2019年3月末：1.2%） ※その他有価証券区分：1.5% （2019年3月末：1.4%）
外国証券	ドル／円 1円の変動で 250億円の増減 （2019年3月末：290億円）	ドル／円 $1 = ¥111 （2019年3月末：¥108）

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度を記載しています。
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準を記載しています。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準を記載しています。

海外生命保険事業 – 米プロテクティブ業績

業績ハイライト (1)

（百万米ドル）

	19/3期	20/3期	増減
生保事業	△ 19	△ 29	△ 9
買収事業	282	346	+ 64
年金事業	167	179	+ 12
ステーブルバリュー事業	102	93	△ 9
アセットプロテクション事業	29	40	+ 10
コーポレート	△ 84	△ 84	+ 0
税引前営業利益 (2)	478	546	+ 68
キャピタル損益（運用収支）	△ 241	334	+ 575
キャピタル損益（金融派生商品損益）	146	△ 304	△ 450
法人税等	80	112	+ 32
当期純利益	302	463	+ 161

＜参考＞

（円）

	18/12末	19/12末
為替レート（米ドル）	111.00	109.56

(1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。
(2) 税引前営業利益(Pre-tax Adjusted Operating Income)とは、当期純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

海外生命保険事業 – 豪TAL業績(1)

新契約年換算保険料

（百万豪ドル）

		19/3期	20/3期	増減
個人保険	新契約	106	83	△ 23
	既契約増減 (※)	108	133	+24
	小計	215	216	+1
団体保険	新契約	21	733	+711
	既契約増減 (※)	57	16	△ 41
	小計	79	749	+669
アステロン・ライフ	新契約	1	13	+11
	既契約増減 (※)	4	87	+82
	小計	6	100	+94
合計		301	1,066	+765

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

純利益と基礎的収益力の差異

（百万豪ドル）

		19/3期	20/3期	増減
基礎的収益力 (A)		170	188	+18
	個人保険	134	126	
	団体保険	59	59	
	アステロン・ライフ	△ 1	53	
	その他(基礎的項目)	△ 21	△ 51	
税引き後修正額(B)		△ 58	△ 33	
	金利変動に伴う資産・保険負債の変動	8	5	
	VOBAの開放等	△ 12	48	
	優先株配当等	△ 24	△ 18	
	その他	△ 31	△ 68	
当期純利益 (A + B)(2)		111	154	+43

<参考>

	19/3末	20/3末
為替レート（豪ドル）	78.64円	66.09円

(1) 連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命グループ – 連結財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

連結損益計算書

（億円）

	19/3期	20/3期	増減
経常収益	71,840	71,140	△699
保険料等収入	53,440	48,854	△4,586
資産運用収益	15,832	18,766	+2,934
うち利息・配当金等収入	12,442	13,028	+585
うち有価証券売却益	2,792	3,007	+215
うち金融派生商品収益	-	-	-
うち為替差益	-	-	-
うち特別勘定資産運用益	366	-	△366
その他経常収益	2,568	3,520	+952
経常費用	67,511	68,957	+1,445
うち保険金等支払金	38,391	48,707	+10,316
うち責任準備金等繰入額	13,092	1,644	△11,447
うち資産運用費用	5,415	8,219	+2,804
うち有価証券売却損	1,417	749	△668
うち有価証券評価損	111	609	+497
うち金融派生商品費用	415	248	△167
うち為替差損	1,623	4,911	+3,287
うち特別勘定資産運用損	-	403	+403
うち事業費	7,035	6,801	△234
経常利益	4,329	2,183	△2,145
特別利益	25	49	+24
特別損失	286	395	+109
契約者配当準備金繰入額	875	825	△50
税金等調整前当期純利益	3,193	1,012	△2,180
法人税等合計	943	688	△254
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,250	324	△1,926

連結貸借対照表

（億円）

	19/3末	20/3末	増減
資産の部合計	559,412	600,119	+40,707
うち現預金・コール	12,556	17,193	+4,636
うち買入金銭債権	1,991	2,211	+219
うち有価証券	470,650	477,344	+6,693
うち貸付金	33,532	37,157	+3,624
うち有形固定資産	11,452	11,262	△189
うち繰延税金資産	171	118	△52
負債の部合計	522,276	562,350	+40,074
うち保険契約準備金	482,794	504,945	+22,150
うち責任準備金	473,257	495,208	+21,950
うち社債	10,622	11,353	+730
うちその他負債	14,209	27,231	+13,021
うち退職給付に係る負債	4,223	4,408	+185
うち価格変動準備金	2,182	2,407	+225
うち繰延税金負債	3,110	2,961	△149
純資産の部合計	37,135	37,769	+633
うち株主資本合計	17,088	16,415	△673
うちその他の包括利益累計額合計	20,036	21,343	+1,307
うちその他有価証券評価差額金	21,015	22,831	+1,816
うち土地再評価差額金	△134	△179	△44

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。
（特別勘定資産運用益/損　為替差益/損　金融派生商品収益/費用）

第一生命－財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書

（億円）

	19/3期	20/3期	増減
経常収益	37,395	36,806	△589
保険料等収入	23,149	23,501	+352
資産運用収益	11,404	10,743	△660
うち利息・配当金等収入	8,051	7,865	△186
うち有価証券売却益	2,747	2,232	△514
うち金融派生商品収益	-	519	+519
うち特別勘定資産運用益	371	-	△371
その他経常収益	2,842	2,561	△280
経常費用	33,929	33,899	△29
うち保険金等支払金	23,284	23,974	+690
うち責任準備金等繰入額	82	82	△0
うち資産運用費用	3,607	3,094	△512
うち有価証券売却損	1,384	727	△656
うち有価証券評価損	78	571	+493
うち金融派生商品費用	482	-	△482
うち為替差損	959	938	△20
うち特別勘定資産運用損	-	113	+113
うち事業費	3,902	3,985	+82
経常利益	3,466	2,906	△559
特別利益	24	49	+24
特別損失	230	338	+108
契約者配当準備金繰入額	875	825	△50
税引前当期純利益	2,385	1,792	△593
法人税等合計	656	505	△151
当期純利益	1,729	1,286	△442

貸借対照表

（億円）

	19/3末	20/3末	増減
資産の部合計	359,471	364,935	+5,464
うち現預金・コール	7,970	10,569	+2,598
うち買入金銭債権	1,991	2,211	+219
うち有価証券	307,555	302,837	△4,717
うち貸付金	23,482	25,420	+1,938
うち有形固定資産	11,228	10,974	△253
うち繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	330,618	339,436	+8,817
うち保険契約準備金	308,826	308,234	△591
うち責任準備金	303,537	302,962	△574
うち危険準備金	5,984	6,284	+300
うち社債	4,762	4,762	-
うちその他負債	6,394	16,931	+10,536
うち退職給付引当金	4,006	3,980	△26
うち価格変動準備金	1,984	2,154	+170
うち繰延税金負債	2,011	795	△1,215
純資産の部合計	28,852	25,499	△3,353
うち株主資本合計	6,841	6,301	△539
うち評価・換算差額等合計	22,011	19,197	△2,813
うちその他有価証券評価差額金	22,111	19,164	△2,947
うち土地再評価差額金	△134	△179	△44

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。
（特別勘定資産運用益/損　為替差益/損　金融派生商品収益/費用）

第一フロンティア生命－財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書

（億円）

	19/3期	20/3期	増減
経常収益	20,369	20,650	+ 280
うち保険料等収入	18,760	13,554	△ 5,205
うち資産運用収益	1,609	2,476	+ 867
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
うち為替差益	-	-	-
経常費用	19,978	21,595	+ 1,616
うち保険金等支払金	7,028	16,003	+ 8,974
うち責任準備金等繰入額	11,310	3	△ 11,307
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	△ 52	△ 146	△ 94
うち危険準備金繰入額	94	△ 682	△ 777
うち資産運用費用	743	4,869	+ 4,125
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失	156	47	△ 109
うち為替差損	665	3,969	+ 3,303
うち事業費	780	613	△ 166
経常利益（△は損失）	391	△ 944	△ 1,336
特別利益	-	-	-
特別損失	54	55	+ 0
法人税等合計	136	0	△ 136
当期純利益（△は損失）	199	△ 1,000	△ 1,200

【参考】

当期純利益（△は損失）	199	△ 1,000	△ 1,200
最低保証リスク関連損益(1)	△ 114	△ 72	+ 42
市場価格調整（MVA）による損益(2)	△ 10	△ 2,054	△ 2,044
事業利益	611	499	△ 111
危険準備金繰入、価格変動準備金繰入、税金	△ 286	626	+ 913

貸借対照表

（億円）

	19/3末	20/3末	増減
資産の部合計	87,554	89,471	+ 1,917
うち現預金・コール	2,099	2,727	+ 627
うち有価証券	78,580	74,278	△ 4,301
負債の部合計	85,607	86,941	+ 1,334
うち保険契約準備金	82,414	77,799	△ 4,615
うち責任準備金	82,217	77,598	△ 4,618
うち危険準備金	1,314	632	△ 682
純資産の部合計	1,947	2,529	+ 582
うち株主資本合計	1,500	499	△ 1,000
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△ 349	△ 1,350	△ 1,000
うちその他有価証券評価差額金	446	2,029	+ 1,583

（1） 最低保証リスク関連損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変額商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等が含まれます（19/3期累計：81億円、 20/3期累計：△171億円）。
（2） 市場価格調整（MVA）に係る責任準備金繰入／戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分は除いています。

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。
（特別勘定資産運用益/損　為替差益/損　金融派生商品収益/費用）

米プロテクティブ－財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書 (1)(2)

（百万米ドル）

	19/3期	20/3期	増減
経常収益	8,717	12,744	+4,027
保険料等収入	5,654	5,761	+107
資産運用収益	2,604	5,430	+2,826
その他経常収益	458	1,552	+1,093
経常費用	8,333	12,167	+3,833
保険金等支払金	5,270	5,455	+184
責任準備金等繰入額	793	4,809	+4,016
資産運用費用	1,118	697	△421
事業費	879	995	+115
その他経常費用	272	210	△61
経常利益	383	577	+193
特別利益	－	－	－
特別損失	0	0	+0
法人税等合計	80	112	+32
当期純利益	302	463	+161

貸借対照表 (1)(2)

（百万米ドル）

	18/12末	19/12末	増減
資産の部合計	89,928	121,080	+31,151
うち現預金	251	310	+59
うち有価証券	69,105	85,011	+15,905
うち貸付金	9,426	11,066	+1,640
うち有形固定資産	191	227	+35
うち無形固定資産	3,117	3,449	+332
うちのれん	825	825	－
うちその他の無形固定資産	2,259	2,596	+336
うち再保険貸	188	12,836	+12,647
負債の部合計	84,161	111,840	+27,679
うち保険契約準備金	75,919	101,128	+25,208
うち再保険借	279	306	+27
うち社債	4,338	4,496	+157
うちその他負債	2,702	4,514	+1,811
純資産の部合計	5,767	9,239	+3,472
株主資本合計	7,193	7,856	+662
その他の包括利益累計額合計	△1,425	1,383	+2,809

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。
(2) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。

豪TAL －財務諸表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

損益計算書 (1)(2)

（百万豪ドル）

	19/3期	20/3期	増減
経常収益	3,917	5,808	+1,891
保険料等収入	3,656	5,230	+1,573
資産運用収益	158	155	△3
その他経常収益	101	423	+321
経常費用	3,763	5,601	+1,837
保険金等支払金	2,599	3,671	+1,071
責任準備金等繰入額	276	733	+456
資産運用費用	44	58	+14
事業費	725	970	+245
その他経常費用	118	168	+50
経常利益	153	207	+53
特別損益	－	－	－
法人税等合計	42	52	+10
当期純利益	111	154	+43
基礎的収益力 (Underlying profit)	170	188	+18

貸借対照表 (1)(2)

（百万豪ドル）

	19/3末	20/3末	増減
資産の部合計	11,341	12,155	+813
現預金	933	854	△79
有価証券	6,543	6,864	+321
有形固定資産	0	41	+40
無形固定資産	1,122	1,094	△27
のれん	786	786	－
その他無形固定資産	335	308	△27
再保険貸	285	293	+7
その他資産	2,242	2,830	+588
繰延税金資産	213	176	△37
負債の部合計	8,354	9,049	+694
保険契約準備金	6,736	7,406	+669
再保険借	363	434	+71
社債	246	248	+2
その他負債	1,008	959	△48
繰延税金負債	－	－	－
純資産の部合計	2,986	3,105	+118
株主資本合計	2,986	3,105	+118
資本金	2,130	2,130	－
利益剰余金	855	974	+118

(1) 連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております（基礎的収益力を除く）

グループ修正利益

Dai-ichi Life Holdings

（単位：億円）

項番				13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期
	国内生命保険事業										
1	第一生命	当期利益		514	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286
2		調整（1）	危険準備金繰入額（法定超過分、税後）	499	249	192	129	129	—	—	216
3		調整（2）	価格変動準備金繰入額（法定超過分、税後）	—	97	—	—	—	—	—	—
4		調整（3）	市場価格調整（ＭＶＡ）関連損益（税後）	0	△ 6	△ 2	△ 4	△ 2	△ 0	△ 0	△ 0
5		調整（4）	持分変動益	—	—	—	—	—	—	△ 14	—
6		調整額合計		499	340	189	125	127	△ 0	△ 14	216
7		修正利益		1,013	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502
8	第一フロンティア生命	当期利益		△ 265	△ 152	△ 219	243	502	370	199	△ 1,000
9		調整（1）	危険準備金繰入額（法定超過額、税後）	153	—	—	—	—	—	—	△ 300
10		調整（2）	価格変動準備金繰入額（法定超過額、税後）	—	—	—	—	—	—	—	—
11		調整（3）	市場価格調整（ＭＶＡ）関連損益（税後）	1	△ 9	469	75	△ 270	△ 79	7	1,935
12		調整額合計		154	△ 9	469	75	△ 270	△ 79	7	1,635
13		修正利益		△ 111	△ 161	249	318	232	291	207	634
14	ネオファースト生命	当期利益		—	—	4	△ 71	△ 59	△ 83	△ 85	△ 163
15		修正利益		—	—	4	△ 71	△ 59	△ 83	△ 85	△ 163
16	国内生命保険事業修正利益			902	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974
	海外保険事業										
17	プロテクティブ	修正利益		—	—	—	323	457	349	335	507
18	ＴＡＬ	修正利益		89	86	121	103	127	105	98	110
19	海外保険事業修正利益			98	108	157	457	615	468	469	703
20	アセットマネジメント事業	修正利益		18	44	61	59	58	53	104	120
21	持株会社	修正利益		—	—	—	—	0	3	△ 35	△ 44
22	連結調整	調整（1）	受け取り配当相殺	17	27	36	135	44	—	—	—
23		調整（2）	ＴＡＬ優先株配当	—	—	—	—	—	—	10	8
24		調整（3）	のれん償却額	38	51	86	63	56	70	82	564
25		調整（4）	持分変動益（第一生命）	—	—	—	—	—	—	14	—
26		調整（5）	持分変動益（持株会社）	—	—	—	—	△ 124	△ 335	—	—
27		調整（6）	米国法人税減税	—	—	—	—	—	△ 901	—	—
28		調整（7）	その他	△ 14	△ 1	△ 22	△ 3	0	39	23	5
29	**グループ修正利益（項番29＝16＋19＋20＋21－22－23）**			**1,000**	**1,160**	**2,147**	**2,046**	**2,101**	**2,432**	**2,363**	**2,745**
30	**連結当期純利益（項番30＝29－6－12－24－25－26－27－28）**			**324**	**779**	**1,424**	**1,785**	**2,312**	**3,639**	**2,250**	**324**

主要企業別損益計算書（要約）

Dai-ichi Life Holdings

（億円）

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクティブ			ＴＡＬ			連結		
	19/3期	20/3期	増減	19/3期	20/3期	増減	19/3期	20/3期	増減	18/12期	19/12期	増減	19/3期	20/3期	増減	19/3期	20/3期	増減
経常収益	37,395	36,806	△589	20,369	20,650	+280	1,812	1,445	△366	9,676	13,962	+4,286	3,080	3,839	+758	71,840	71,140	△699
保険料等収入	23,149	23,501	+352	18,760	13,554	△5,205	1,811	1,443	△367	6,276	6,312	+36	2,875	3,456	+580	53,440	48,854	△4,586
資産運用収益	11,404	10,743	△660	1,609	2,476	+867	0	1	+0	2,890	5,949	+3,059	124	102	△22	15,832	18,766	+2,934
うち利息・配当金等収入	8,051	7,865	△186	1,544	1,768	+223	0	1	+0	2,789	3,317	+527	17	17	+0	12,442	13,028	+585
うち有価証券売却益	2,747	2,232	△514	15	707	+692	-	-	-	27	67	+40	-	-	-	2,792	3,007	+215
うち金融派生商品収益	-	519	+519	-	-	-	-	-	-	67	-	△67	-	-	-	-	-	-
うち為替差益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	△0	0	-	△0	-	-	-
うち特別勘定資産運用益	371	-	△371	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	366	-	△366
その他経常収益	2,842	2,561	△280	0	4,619	+4,618	0	0	+0	509	1,700	+1,191	80	279	+199	2,568	3,520	+952
経常費用	33,929	33,899	△29	19,978	21,595	+1,616	1,897	1,608	△288	9,250	13,330	+4,080	2,959	3,702	+742	67,511	68,957	+1,445
うち保険金等支払金	23,284	23,974	+690	7,028	16,003	+8,974	107	281	+173	5,849	5,976	+126	2,044	2,426	+381	38,391	48,707	+10,316
うち責任準備金等繰入額	82	82	△0	11,310	3	-11,307	1,147	1,052	△94	880	5,269	+4,388	217	484	+266	13,092	1,644	-11,447
うち資産運用費用	3,607	3,094	△512	743	4,869	+4,125	0	0	+0	1,241	763	△477	34	38	+3	5,415	8,219	+2,804
うち有価証券売却損	1,384	727	△656	17	6	△10	-	-	-	16	15	△0	-	-	-	1,417	749	△668
うち有価証券評価損	78	571	+493	-	-	-	-	-	-	32	37	+4	-	0	+0	111	609	+497
うち金融派生商品費用	482	-	△482	0	335	+334	-	-	-	-	432	+432	-	-	-	415	248	△167
うち為替差損	959	938	△20	665	3,969	+3,303	-	-	-	-	0	+0	-	1	+1	1,623	4,911	+3,287
うち特別勘定資産運用損	-	113	+113	4	289	+285	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	403	+403
うち事業費	3,902	3,985	+82	780	613	△166	636	267	△368	976	1,090	+114	570	641	+71	7,035	6,801	△234
経常利益	3,466	2,906	△559	391	△944	△1,336	△85	△163	△78	425	632	+206	120	136	+16	4,329	2,183	△2,145
特別利益	24	49	+24	-	-	-	-	0	+0	-	0	+0	-	-	-	25	49	+24
特別損失	230	338	+108	54	55	+0	0	0	△0	0	0	+0	-	-	-	286	395	+109
契約者配当準備金繰入額	875	825	△50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	875	825	△50
税金等調整前当期純利益	2,385	1,792	△593	336	△1,000	△1,336	△85	△163	△77	425	631	+206	120	136	+16	3,193	1,012	△2,180
法人税等合計	656	505	△151	136	0	△136	0	0	+0	89	123	+34	33	34	+1	943	688	△254
少数株主損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	1,729	1,286	△442	199	△1,000	△1,200	△85	△163	△77	335	507	+172	87	102	+14	2,250	324	△1,926

主要企業別貸借対照表（要約）

Dai-ichi Life Holdings

（億円）

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクティブ			ＴＡＬ			連結		
	19/3末	20/3末	増減	19/3末	20/3末	増減	19/3末	20/3末	増減	18/12末	19/12末	増減	19/3末	20/3末	増減	19/3末	20/3末	増減
資産の部合計	359,471	364,935	+5,464	87,554	89,471	+1,917	1,574	2,443	+869	99,820	132,655	+32,834	8,918	8,033	△885	559,412	600,119	+40,707
うち現預金・コール	7,970	10,569	+2,598	2,099	2,727	+627	861	1,595	+733	279	340	+61	733	564	△169	12,556	17,193	+4,636
うち買入金銭債権	1,991	2,211	+219	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,991	2,211	+219
うち有価証券	307,555	302,837	△4,717	78,580	74,278	△4,301	152	358	+205	76,707	93,139	+16,431	5,145	4,536	△608	470,650	477,344	+6,693
うち貸付金	23,482	25,420	+1,938	-	-	-	0	7	+6	10,463	12,124	+1,661	14	11	△2	33,532	37,157	+3,624
うち有形固定資産	11,228	10,974	△253	3	3	+0	2	2	△0	212	248	+36	0	27	+26	11,452	11,262	△189
うち無形固定資産	1,069	1,143	+73	76	92	+15	3	17	+13	3,460	3,779	+319	882	723	△159	4,448	4,729	+281
負債の部合計	330,618	339,436	+8,817	85,607	86,941	+1,334	1,377	2,411	+1,033	93,418	122,532	+29,113	6,381	5,822	△559	522,276	562,350	+40,074
うち保険契約準備金	308,826	308,234	△591	82,414	77,799	△4,615	1,308	2,360	+1,052	84,270	110,796	+26,525	5,297	4,895	△402	482,794	504,945	+22,150
うち責任準備金	303,537	302,962	△574	82,217	77,598	△4,618	1,303	2,345	+1,041	83,491	109,830	+26,339	2,050	1,637	△413	473,257	495,208	+21,950
うち社債	4,762	4,762	-	-	-	-	-	-	-	4,815	4,926	+110	194	164	△29	10,622	11,353	+730
うちその他負債	6,394	16,931	+10,536	902	2,205	+1,303	67	47	△20	3,000	4,945	+1,945	604	475	△128	14,209	27,231	+13,021
うち退職給付に係る負債	4,006	3,980	△26	-	-	-	-	-	-	90	97	+6	-	-	-	4,223	4,408	+185
うち価格変動準備金	1,984	2,154	+170	198	253	+55	0	0	+0	-	-	-	-	-	-	2,182	2,407	+225
うち繰延税金負債	2,011	795	△1,215	173	789	+615	0	-	△0	931	1,431	+499	-	-	-	3,110	2,961	△149
純資産の部合計	28,852	25,499	△3,353	1,947	2,529	+582	196	32	△163	6,402	10,123	+3,721	2,537	2,211	△326	37,135	37,769	+633
うち株主資本合計	6,841	6,301	△539	1,500	499	△1,000	195	32	△163	8,457	9,180	+722	2,804	2,879	+74	17,088	16,415	△673
うちその他の包括利益累計額合計	22,011	19,197	△2,813	446	2,029	+1,583	0	△0	△0	△2,055	942	+2,998	△267	△668	△401	20,036	21,343	+1,307
うちその他有価証券評価差額金	22,111	19,164	△2,947	446	2,029	+1,583	0	△0	△0	△1,565	1,559	+3,125	-	-	-	21,015	22,831	+1,816
うち土地再評価差額金	△134	△179	△44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△134	△179	△44

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

Dai-ichi Life Holdings

（億円）

	19/3末	20/3末	増減
ソルベンシー・マージン総額（A）	73,344	74,466	+1,121
資本金等(1)	13,147	12,260	△886
価格変動準備金	2,182	2,407	+225
危険準備金	7,309	6,931	△377
一般貸倒引当金	1	1	+0
（その他有価証券評価差額金（税効果控除前）・繰延ヘッジ損益（税効果控除前））×90%（マイナスの場合100%）	26,393	28,261	+1,867
土地の含み損益×85%（マイナスの場合100%）	1,998	2,438	+440
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△ 151	△ 377	△226
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,345	22,707	△638
負債性資本調達手段等	8,442	9,092	+650
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 7,287	△ 7,620	△333
控除項目	△ 2,650	△ 2,411	+239
その他	613	774	+161
リスクの合計額（B）$\sqrt{(\sqrt{R_1^2+R_5^2}+R_8+R_9)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4+R_6$	16,864	16,844	△20
保険リスク相当額 R_1	1,232	1,324	+92
一般保険リスク相当額 R_5	59	48	△10
巨大災害リスク相当額 R_6	15	14	△1
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	1,944	1,923	△20
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	-	-	-
予定利率リスク相当額 R_2	2,618	2,457	△161
最低保証リスク相当額 R_7 (2)	728	706	△21
資産運用リスク相当額 R_3	12,803	12,952	+148
経営管理リスク相当額 R_4	388	388	+0
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times100$	869.7%	884.1%	+14.4%

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除いています。
(2) 標準的方法を用いて算出しています。

中間持株会社の設立について

1. 中間持株会社設立の目的および方針

当社は、生命保険事業を海外8カ国において展開し、海外生命保険子会社等による保険料等収入は1兆円（グループ全体に対する占率：約21%）、修正利益は703億円（同：約26%）にまで拡大しており、海外生命保険事業は、当社グループの成長戦略の柱の一つとなっています。

今般、海外生命保険子会社等を統括する中間持株会社を国内に設立し、子会社等に対する経営管理・支援を海外地域統括拠点と一体で行う基盤整備を図るとともに、海外経営人財の取り込みを通じて、海外生命保険事業の更なる成長とグローバルガバナンス体制の更なる強化を加速することを企図しています。

中間持株会社は、当社の子会社として設立し、当社が保有する海外生命保険子会社等の株式の一部を、中間持株会社へ移管する方針です（※）。
（※）移管にあたっては、各国の監督当局による認可・承認等を条件とします。

なお、当社はこれまで金融庁の監督のもと、保険業法上の保険持株会社として認可を取得し、保険主要株主と比較してより厳格な規制に服してきました。保険業法においては、国内子会社の株式の取得額合計が保険会社の親会社の総資産額の50%を超える場合に当該親会社は保険持株会社に該当することとされています。当社は現時点においてこの点を充足していませんが、監督官庁である金融庁からは保険持株会社の認可は有効であるとの見解を得ています。本対応等により当社の国内子会社の株式の取得額合計が当社の総資産額の50%を超えることとなる見込みです。

2. 今後の予定

2020年6月（予定）　中間持株会社の設立
2020年10月（予定）　海外生命保険子会社等の株式の一部を中間持株会社へ移管
・当局による許認可等を条件とします。
・中間持株会社の詳細につきましては、決定次第改めてお知らせします。

本資料の問い合わせ先
第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット　IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。